

総務省「教育の情報化」フォーラム プログラム

日時：平成 29 年 5 月 16 日（火）10:00～17:00

（パネル・機材の展示 10:00～17:30）

場所：東京証券会館 8 階ホール

主催：総務省

後援：未来の学びコンソーシアム

（敬称略）

時間	次第	登壇者
10:00～10:05	開会挨拶（総務省）	
第 I 部 先導的教育システム実証事業		
10:05～10:20	先導的教育システム実証事業 成果と今後の展望	総務省情報流通行政局 情報通信利用促進課長 御厩 祐司
10:20～10:50	実証地域 各地域担当者からコメント ①福島県新地町 ②東京都荒川区 ③佐賀県	①新地町教育委員会 教育総務課 指導主事 伊藤 寛 ②荒川区教育委員会 指導室 指導主事 原田 正伸 ③佐賀県教育庁 学校教育課教育情報化 支援室指導主事 大家 淳子
10:50～11:30	フルクラウドモデル校 各モデル校担当者からコメント ①柏市立田中北小学校 ②小金井市立前原小学校 ③箕面市立箕面小学校 ④倉敷市立連島北小学校 倉敷市立連島東小学校 倉敷市立多津美中学校 倉敷市立福田中学校 ⑤多久市立中央小中学校	①柏市立田中北小学校 教諭 西川 真吾 ②小金井市立前原小学校 校長 松田 孝 ③箕面市立箕面小学校 校長 松山 尚文 ④倉敷市立連島北小学校 情報学習センター 主任 守谷 和幸 ⑤多久市立中央小中学校 学校教育課 指導主事 柴村 直美
11:30～12:10	ドリームスクール実践モデル校 各モデル事業担当者からコメント ①ICTを活用した学習支援モデルづくり ②習熟度マップを使用した学力向上モデル ③新聞づくりを通じた郷土学習および主権者教育でのアクティブラーニング実践モデル ④教育クラウド活用の取り組み ⑤不登校や学習に困難を抱える児童・生徒へのリメディアル教育モデル	①NPO 法人 eboard 代表理事 中村 孝一 ②ペガサス株式会社 取締役統括本部長 門倉 正学 ③株式会社神戸新聞社 経営企画室長 梶岡 修一 ④大川村立大川小中学校 ICT支援員 山中 貴仁 ⑤NTT ラーニングシステムズ株式会社 教育 ICT 推進部主査 小野 豊
12:10～12:20	講評	先導的教育システム実証事業評価委員会委員長（東京工業大学 学長相談役・名誉教授）清水 康敬
12:20～13:05	（休憩）	

第Ⅱ部 若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業

13:05~13:10	総務省挨拶	
13:10~13:25	若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業 成果と今後の展望	総務省情報流通行政局 情報通信利用促進課長 御厩 祐司
13:25~15:05	<p>実施プロジェクト（11）の主体によるパネルディスカッション</p> <p>①発達段階（発達障害も含む）に合わせた異年齢協働プログラミング教育</p> <p>②プログラミング教育の地域間格差解消を目指す、遠隔地間協同育成支援モデル</p> <p>③お菓子で学ぶおいしいプログラミング体験と普及活動</p> <p>④2020年必修化を見据えたオープンで探求的・総合的なプログラミング学習</p> <p>⑤世界に発信！地域密着プログラミング学習による新潟市PRプロジェクト</p> <p>⑥コース選択制による創造的プログラミング教育の普及推進</p> <p>⑦ものづくりDNAの継承をめざした地域完結型プログラミング教育モデル実証</p> <p>⑧ファブラボを活用した多世代地域連携型プログラミング人材育成モデル</p> <p>⑨プログラミングによる地域伝統芸能復興</p> <p>⑩大学カリキュラムと連携したメンターの効率的かつ持続的育成</p> <p>⑪プログラミングを活用した次世代人材育成</p>	<p>実証11団体各代表</p> <p>①株式会社LITALICO（北海道ブロック） 北広島市立東部小学校 校長 設楽 正敏</p> <p>②国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校（東北ブロック） 教諭 二田 貴広</p> <p>③江崎グリコ株式会社（関東ブロック） 小金井市立前原小学校 校長 松田 孝</p> <p>④一般社団法人みんなのコード（北陸ブロック） 加賀市教育委員会 指導主事 山井 聡</p> <p>⑤株式会社チアリー（信越ブロック） 新潟市立南浜小学校 教務主任 田辺 和明</p> <p>⑥株式会社D2C（東海ブロック） Life is Tech 株式会社 取締役 讃井 康智</p> <p>⑦西日本電信電話株式会社（近畿ブロック） 寝屋川市教育委員会 藏守 利彦</p> <p>⑧一般社団法人国際STEM学習協会（中国ブロック） 山口市立大殿小学校 校長 松田 伸宏</p> <p>⑨株式会社TENTO（四国ブロック） 株式会社パイロット 山下 実則</p> <p>⑩株式会社アーテック（九州ブロック） 北九州市立祝町小学校 教諭 是澤 郁</p> <p>⑪公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター（沖縄ブロック） 沖縄県マルチメディア教育研究会 事務局長 宮城 渉</p>
15:05~15:15	(休憩)	
15:15~16:30	<p>新規プロジェクト（19）の紹介</p> <p>①オープンで探求的・総合的なプログラミング学習実施モデル2017</p> <p>②地域主体による自走的・持続的なプログラミング教育人材の育成と実証</p> <p>③栄養士と学ぶプログラミング講座（バーチャル・クッキング）</p> <p>④バスケットによるプログラミング入門</p> <p>⑤IchigoJamでものづくり</p> <p>⑥モノづくりの実践から始める「未来工作ゼミ式ICTラーニング」の実証</p> <p>⑦プログラミング教育の広域的な普及促進モデルの実証</p> <p>⑧“IT先進都市Toyohashi!”を目指した、豊橋市民総メンターによるプログラミング教育の推進</p>	<p>実証19団体各代表</p> <p>①一般社団法人みんなのコード 代表理事 利根川 裕太</p> <p>②株式会社サクル 三原 雄大</p> <p>③タイムソフト合同会社 代表 古田 和美</p> <p>④合同会社デジタルポケット 代表 原田 康徳</p> <p>⑤株式会社ナチュラルスタイル 代表 松田 優一</p> <p>⑥株式会社アソビズム 依田 大志</p> <p>⑦三重県教育委員会 研修推進課 主幹兼研修主事 向井 英規</p> <p>⑧ジャパン・トゥエンティワン株式会社 顧問 高嶋 孝明</p>

	<p>⑨プログラミング×ロボットで防災を考える</p> <p>⑩「永続的なプログラミング教育メンター人材バンク」「ジュニア・プログラミング検定」を用いたメンター育成及び子ども達の成長可視化プロジェクト</p> <p>⑪自律型ロボット教材を活用したプログラミング学習モデルの検証</p> <p>⑫自動ドアのしくみと制御プログラムの作成</p> <p>⑬指導者不足問題の解決、学校の状況に合わせた教育コンテンツのアレンジメントを意識した実証</p> <p>⑭地域資源であるプログラミング言語「Ruby」を活用した教科学習（算数）支援モデル</p> <p>⑮教育版マイクラフトを活用したプログラミング的思考学習の推進</p> <p>⑯学生ベンチャー企業が大学と連携して九州広域で実施するブロックロボットプログラミング教室</p> <p>⑰地域ボランティア（シニア、主婦等）が指導する地域サークル活動と自宅での自己学習の併用による発展的プログラミング教育</p> <p>⑱全ての地域で実施可能な、現実的且つ効果的なプログラミング教育の実証</p> <p>⑲大学の無い地域における「工業高校生メンターの育成」を通じた持続可能なプログラミング教育のエコシステムづくり</p>	<p>⑨株式会社Z会 公民連携推進室 室長 徳永 慎司</p> <p>⑩株式会社チアリー スタープログラミングスクール 代表 斎藤 幸輔</p> <p>⑪夢見る株式会社 代表取締役 重見 彰則</p> <p>⑫株式会社学研エデュケーショナル 塾・テック事業部 もののしくみ研究室 編集長 前原 達也</p> <p>⑬株式会社テックプログレス 西山 和馬</p> <p>⑭松江市 産業観光部 まつえ産業支援センター 佐藤 文昭</p> <p>⑮日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター統括本部文教本部 原田 英典</p> <p>⑯株式会社ロジコモン 代表取締役 大町 侑平</p> <p>⑰NPO 法人日本ソーシャルスクール協会 理事長 濱川 一宏</p> <p>⑱株式会社 CA Tech Kids 社長室 企画広報責任者 黒川 広貴</p> <p>⑲株式会社リチャージ 代表取締役 志水 哲也</p>
16:30～16:40	講評	<p>プログラミング教育事業推進会議 主査 （一般社団法人 ICT CONNECT 21 会長） 赤堀 侃司</p>
16:40～17:00	「教育の情報化」の進展	<p>文部科学省生涯学習政策局生涯学習総括官 佐藤 安紀</p>

10:00～17:30	パネル・機材の展示
-------------	-----------